

東京音楽大学 ミュージック・リベラルアーツ (MLA) 専攻

T&M

音楽を愛し、
世界を目指す



Introduction

2017年、東京音楽大学に日本の音楽大学で初の「ミュージック・リベラルアーツ (MLA) 専攻」が誕生しました。どの分野に進んでもスペシャルな人材となるために。

東京音楽大学のこのポリシーをさらに推し進めた専攻です。

新しい世界へチャレンジする皆さんに、最良の学びの場をお届けします。

音楽・英語・
インテリジェンス
すべてを身につけたい人へ

ミュージック・リベラルアーツ(MLA)専攻って?

A 「音楽」と「教養」を柱に、実践的な英語力を身につけます。

ミュージック・リベラルアーツ専攻は、トップレベルの“音楽実技教育”と、さまざまな学問領域を網羅した“教養科目”という2つの柱で、世界を舞台に活躍できる人材を育成する専攻です。音楽、教養、そして国際人には欠かせない英語の3つを融合したカリキュラムで、卒業後には音楽はもちろん、どんな分野でも有意義な活動ができる能力を養います。

Music



音楽大学ならではの専門的な実技教育が受けられます。

専門的な音楽教育を中心として、教養・英語教育を強化することで、国際的に活躍できる音楽家を目指す。音楽に関する学びは、器楽専攻や声楽専攻、作曲指揮専攻と基本的に同じです。第一線で活躍する教授陣が担当します。

Liberal Arts



レベルの高いリベラルアーツ科目が学べます。

2年次からは、トップレベルの教授陣によるリベラルアーツ科目を学びます。「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3つの分野からバランスよく履修。広く世界を知り、現実の課題について理解・提案する力を養います。英語によるアクティブラーニングの授業となります。

English



少人数制で、本物の英語力を養います。

英語ネイティブスピーカー1人に対し学生4人、という徹底した少人数制授業の「チュートリアルイングリッシュ」では、実践的な英語コミュニケーション能力を身につけます。さらに「アカデミックライティング」や「プレゼンテーション」などによって、高度な英語力を培います。

Curriculum

ミュージック・リベラルアーツ専攻 カリキュラム

音楽実技を中心に、1年次は英語スキル科目で英語能力を確実に獲得。2年次以降はリベラルアーツ科目が加わり、英語によるアクティブラーニングの授業を行います。

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
	個人レッスン(声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器、打楽器、作曲、指揮、古楽器、邦楽器より選択)								
MUSIC			アンサンブル	[アンサンブル(選択科目)]					
	ソルフェージュ 和声		[ソルフェージュ 和声 和声分析 など(選択科目)]						
ENGLISH/ LIBERAL ARTS	チュートリアル イングリッシュ		リベラルアーツ科目(英語で学ぶ)						
	アカデミック ライティング		人文科学系…ヨーロッパの社会・文化、ヨーロッパ史、音楽史、ジャズヒストリー など						
	アカデミック プレゼンテーション		社会科学系…国際関係論、日本の文化と社会、異文化交流 など						
	ディベートとディスカッション		自然科学系…音楽心理学、音楽療法 など						
	アカデミック リーディング		ビジネスライティング		卒業論文ゼミ・卒業論文				
専攻開設科目	英語学概論/日本語		イントロダクション トウ ミュージックヒストリー/ミュージック スタディーズ/MLA資格英語/キャリア演習 など						
選択科目	他の専攻で開講している音楽科目(実技・講座など)/交流大学単位互換科目								

【そのほかの選択科目】

●指導者養成管弦楽・吹奏楽、邦楽実習、ガムラン実習 など

●全学共通科目:教養科目・外国語 など

※英語力が特別に優れている学生はリベラルアーツ科目の一部を1年次から履修可能。 ※上智大学単位互換科目は2セメスターより履修が可能。

※カリキュラムの詳細はホームページ(シラバス)をご覧ください。

MESSAGE

(FROM PROFESSOR)



石井 克典

[ピアノ実技担当 教授]

音楽も英語も、メッセージがあってこそ

音 音楽大学における学生の英語力向上は、海外招聘指導者や音楽家との直接的なコミュニケーションを可能にし、音楽への理解と演奏技能の上達に大きく貢献することでしょう。ただし、英語力の習得だけが目指すゴールではありません。英語は伝達手段であって、それを使って発信する「メッセージ」を音楽大学生として追求することが最終目的です。演奏も英語も「発信したい」と願う、自分の内面にある意思や欲求があってこそ意味をもつもの。それらは必ず有機的・相乗的に機能するはずで。本専攻では、それらが同じプロセスで上達するのを経験できるでしょう。



藤崎 一郎

[リベラルアーツ科目担当 特別招聘教授/前アメリカ合衆国駐節特命全権大使]

技術を磨くとともに、土台づくりが大事

リ ベラルアーツは、ふつう一般教養と訳されます。私は土台だと思います。専門を積み重ねていくための土台。想像力、創造力を引き出すための土壌です。だから法律や政治経済だけでなく、理系学問にも音楽、文学、美術などを究めるためにも必要です。厚くしっかりした土台の上には高層、重厚な建物も造れます。薄い弱い土台には小さな軽いものしか置けません。音楽は人間性を伝えます。だからこそ技術を磨くとともに土台づくりが大事になります。この大学がMLAを設けた理由です。私もあなたの土台づくりをお手伝いします。

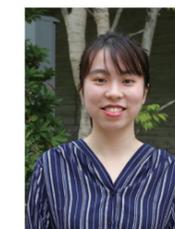
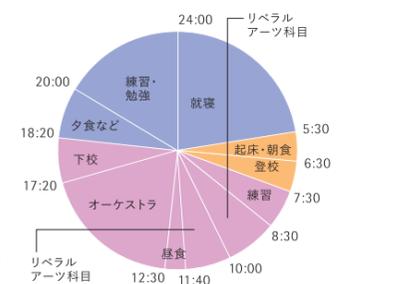
(FROM STUDENT)



島田 桃乃さん

[3年/専門実技 チェロ]

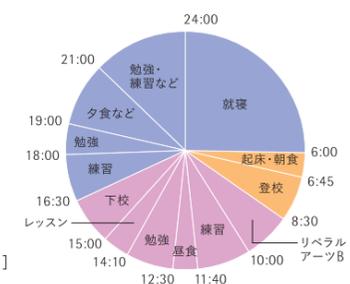
●島田さんの1日のスケジュール例



岩本 理那さん

[2年/専門実技 ピアノ]

●岩本さんの1日のスケジュール例



Q 本専攻を志望したきっかけは?

A MLAは音楽だけでなく英語も重点的に学びたいと思っていた私にとってすごく魅力的な選択肢でした。実際入学してみると音楽と英語、一方への偏りはなく、両方真剣に取り組む必要があります。音楽実技では音楽そのものの楽しさを教えてくださるので、チェロへの意欲は大学に入ってより高まりました。

Q リベラルアーツ科目を受講した感想を教えてください。

A 2年次に「Contemporary Music Style」と「Intercultural Communication」, 「Cultures of the English Speaking World」を履修しました。内容に興味をもった学生が集まるので刺激し合い、より深いところまで学習することができました。異なった文化を英語で学ぶことで英語の理解も進みます。

Q 受験生へのメッセージを。

A 東京音楽大学では、すべての学生がさまざまな目標に向かって努力していきます。そのなかでも特にMLAは、音楽はもちろん英語をとおしているいろいろなことを学べるのがいいところです。新校舎もでき、きれいな設備で日々充実した大学生活を過ごすことができると思います。

学長からのメッセージ

「高度な音楽を生み出すために、人間としての成長を後押しする」

学長 野島 稔

我われの使命は4年間という限られた時間のなかで、学生がより高度な音楽を生み出すために、人間としての成長を包括的に後押しする場を提供することだと考えています。大切なのは「自分がどう考え表現したいのか、自らに問いかけて学ぶこと」。本専攻で人間力を磨き、音楽家、社会人として力強く羽ばたいていただきたいと切に願っています。



©Christian Steiner

入学試験

	一般入試	AO入試、帰国生・留学生入試		ピアノ演奏家コース特別特待奨学生 選抜入学試験
試験の 種類と日程	4月入学	4月入学	9月入学	4月入学
	A日程 2月 B日程 3月	11月	A日程 2月 B日程 3月	11月
試験科目	●英語 ●実技 ●面接	●書類審査 (AO入試は、英語資格や国際バカロレア所有者を対象とします。受験資格などは、ホームページ等で確認してください) ●実技 ●面接		●書類審査 (受験資格などは、ホームページ等で確認してください) ●実技 ●面接

※受験資格についてはホームページ、入試要項で詳細を発表します。
 ※実技試験は習熟度を判定し、入学後のレッスンの参考とすために行います。
 ※実技は、声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、指揮、古楽器(リコーダー、リュート、チェンバロ、オルガン)、邦楽器(箏(生田流)、長唄三味線、琵琶(鶴田流)、古典尺八)から選んでください。
 ※英語試験は(独)大学入試センターが実施する外国語試験、本学が行う試験、下記資格試験より選択のこと。資格試験の最低基準スコアは以下のとおり。
 実用英語技能検定試験準2級以上、IELTS(Academic) 4.5以上、TEAP(Reading/Listening) 100以上、TOEFL iBT® 50以上、TOEIC® L&R 450点以上(公開テストのみ。IPテストは対象外)。
 ※面接は、日本語および英語、または英語から選ぶことができます。

※入試の詳細については、当該年度の入学試験要項で必ず最終的な確認をしてください。



FAQ

Q1 ミュージック・リベラルアーツ専攻の 留学制度は どのようになっていますか？

留学制度はミュージック・リベラルアーツ専攻の大きな特長です。提携校、非提携校を問わず、2セメスターまでの留学期間中に海外で修得した単位は、審査のうえ本学の単位に振り替えて認定され、この単位認定制度により、留学期間を含めて4年間で卒業することも可能です。留学に際しては、留学先の選定、申請をはじめとする各種手続きなどきめ細かいサポートを行います。

Q2 ミュージック・リベラルアーツ専攻には、 留学生も在籍していますか？

留学生も在籍しています。また、海外からの交換留学生在が、ミュージック・リベラルアーツ専攻の授業を受講することもあります。

Q3 卒業後は どんな進路を想定していますか？

東京音楽大学の2018年度の主な進路は下記のとおりです。本専攻の卒業生も楽団、音楽教室、音楽教師といった音楽関連にとどまらず、多種多様な分野への進路を想定しています。また、大学院や海外の大学への進学を予定している学生もいます。

2019年3月卒業生 実績

金融	株式会社三井住友銀行/2名 株式会社中国銀行/1名 中央労働金庫/1名 SMBC日興証券株式会社/1名 日本生命保険相互会社/1名 明治安田生命保険相互会社/1名 第一生命保険株式会社/1名 セゾン自動車火災保険株式会社/1名 株式会社大和証券ビジネスセンター/1名
メーカー	日本発条株式会社/1名 プラス株式会社/1名
建設・不動産	戸田建設株式会社/1名 共同エンジニアリング株式会社/1名
音楽関連	株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS/1名 株式会社ヤマハミュージックリテイリング/1名 島村楽器株式会社/3名 株式会社ベビシユタイン・ジャパン/1名 株式会社タク/1名 株式会社下倉楽器/1名 株式会社日音/1名 株式会社トーオン/1名

IT・情報通信	パナソニックESネットワークス株式会社/1名
マスコミ・広告関連	株式会社読売新聞東京本社/1名
アパレル	株式会社ジュンアシダ/1名
商社・流通・小売	株式会社コーサー/1名 株式会社ルミネ/1名 株式会社富士薬品/1名 岡山トヨペット株式会社/1名 株式会社ココカラファインヘルスケア/1名 株式会社インターメスティック/1名
教育・学習支援等	株式会社ユーキャン/1名
その他(専門サービス等)	日本郵便株式会社/1名
教員	教員/37名 その他音楽団体、公務員、進学、留学 多数

※順不同

Information

中目黒・代官山キャンパス (学校法人本部)
〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1
Tel. 03-6455-2700 Fax. 03-6455-2770

池袋キャンパス
〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5
Tel. 03-3982-3186 Fax. 03-3982-3183

最新情報は
WEBで⇒
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

